

ア カン サ ス ポータル通信 第15号

使わなくなったコンテンツを“非表示”にしてあげる裏技

授業にてアカンサスポータルを使った確認テストやアンケートを実施していると、いつの間にかコンテンツが増え、必要なコンテンツを探すことを煩わしく思うようになります(左図)。熱心な先生の思いとは別に、学生も同じストレスを感じていることでしょうか。もしかすると嫌悪感すら抱いているかも知れません。

↑ ↓ テスト/アンケート

- » 第1回確認テスト(4月10日)
- » 第2回確認テスト(4月17日)
- » 第3回確認テスト(4月24日)
- » 第4回確認テスト(5月1日)
- » 第5回確認テスト(5月8日)
- » 第6回確認テスト(5月15日)
- » 第7回確認テスト(5月22日)
- » 中間レポート(6月12日まで)
- » 第8回確認テスト(5月29日)

そこで、本稿では「使わなくなったコンテンツを非表示にしてあげる方法」を紹介します。「してあげる」というのは、次ページに示すとおり、学生モードで非表示になるが、教員モードでは非表示ではないという意味です。「なんだ」と思われるかも知れませんが、教員側のメリットも少なくとも3つは存在します。

まず、学生の回答操作のミスが減るでしょう。ポータルを使ってレポート提出を求めたとき、間違えた提出場所から送ってくれる学生が数名います。【(補足)アカンサスポータルでは、レポートを提出するポストを設置する機能があります。1課題に1つのポストを設置するのですが、課題Aに対するレポートを課題Bのポストから提出してくれた時は困ります】そこで、役目を終えたコンテンツを学生側で非表示としてあげることで、回答や提出自体の“もめ事”が減るかも知れません。

次に、この方法を使うと、対象のコンテンツ名の文字が「青」から「薄い黒」に変わります。これにより、「学生が利用可能なコンテンツ」と「利用できないコンテンツ」の区別が容易になります。もし、「学生が利用可能な状態」のコンテンツを探すときは青文字を探せばよいことになります。

3つ目は、学生に見せないコンテンツを作れるということです。作成途中の教材を「非表示」にしておき、完成したら「表示」に切替えるといった使い方ができます。要するに、何回でもコンテンツ作成作業を中断できるというわけです。

次ページに操作方法を示しました。もし、説明や操作手順が不明な点がございましたら、右記まで連絡をお願いします。(要望がありましたら、なぜ裏技なのかについても説明させていただきます)

制作：FD・ICT教育推進室 (FD/SD・ICT教育支援部門)
末本 哲雄 ・ 竹本 寛秋
電話：内線 角間(81)-5804
メール：e-support@el.kanazawa-u.ac.jp
(ID・パスワードの発行依頼、操作方法もこちらまで)
URL：http://www.el.kanazawa-u.ac.jp/home/index.html

【 文責：末本哲雄 】

【操作手順】

↓↑ テスト/アンケート » 作成/編集/削除 top

» 第1回確認テスト(4月10日)	末本 哲雄	2009-10-06 20:17:2	[編集]	学習履歴[0]
» 第2回確認テスト(4月17日)	末本 哲雄	2009-10-06 20:17:4	[編集]	学習履歴[0]
» 第3回確認テスト(4月24日)	末本 哲雄	2009-10-06 20:17:2	[編集]	学習履歴[0]
» 第4回確認テスト(5月1日)	末本 哲雄	2009-10-06 20:17:2	[編集]	学習履歴[0]
» 第5回確認テスト(5月8日)	末本 哲雄	2009-10-06 17:2	[編集]	学習履歴[0]

テスト/アンケート オプション設定

タイトルを入力し、下にある操作ボタンをクリックしてください。
○テストの説明/注意点は、コンテンツを開始するときに説明として表示される

テストのタイトル 第1回確認テスト(4月10日) 'New'マーク

アクセス制限

- 単体でも利用可能なコンテンツ
- 単体でも利用可能なコンテンツ
- ユニット用/非表示コンテンツ
- ゲストも利用可能なコンテンツ

テストの形式

下にスクロールして…

テスト編集

変更を保存して終了 取り消し

【操作手順】

- (1) コンテンツの右の「編集」をクリックする
- (2) アクセス制限を「ユニット用/非表示コンテンツ」を選択する
- (3) 「変更を保存して終了」をクリックする

操作の結果、下図に示すように、表示が変わる。(第1回～第7回確認テストに注目)

先生モードで表示

↓↑ テスト/アンケート

» 第1回確認テスト(4月10日)
» 第2回確認テスト(4月17日)
» 第3回確認テスト(4月24日)
» 第4回確認テスト(5月1日)
» 第5回確認テスト(5月8日)
» 第6回確認テスト(5月15日)
» 第7回確認テスト(5月22日)
» 中間レポート(6月12日まで)
» 第8回確認テスト(5月29日)

学生モードで表示

テスト/アンケート

» 中間レポート(6月12日まで)
» 第8回確認テスト(5月29日)

(↑) 学生が見ると表示されない

(←) 教員が見ると「非表示コンテンツ」は
薄い黒文字で表示される (見づらくて申し訳ない)

(使用例) 筆者はこの方法で「TA/教員だけの会議室」を作り、グループワークをファシリテートする TA の報告や相談、配慮を要する受講生についての意見交換をしている。